

令和6年7月3日
国土交通省関東地方整備局
富士川砂防事務所

工事発注手続きについて

～「R6 武智川下流床固群工事」他工事の発注手続きを行います～

富士川砂防事務所が発注する「R6 武智川（たけちがわ）下流床固群工事」、「R6 木挽崩沢（こびきがれさわ）護岸工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R6 武智川下流床固群工事」、「R6 木挽崩沢護岸工事」については、以下の不調・不落対策等を試行、採用します。

【対象工事】

1. R6 武智川下流床固群工事
2. R6 木挽崩沢護岸工事

【不調・不落対策】

- ： (1)、(2)、(3)
： (1)、(2)、(3)

【不調・不落対策】

- (1)地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更
- (2)余裕期間制度（フレックス方式）
- (3)一般競争入札（総合評価落札方式）自治体実績チャレンジ型

※詳細は次頁以降をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、山梨県政記者クラブ、長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、長野市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 富士川砂防事務所

電話：055-252-7108（代表） F A X：055-252-1956

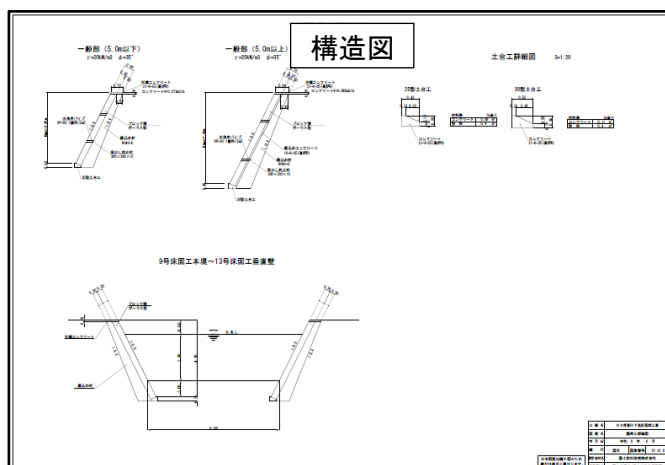
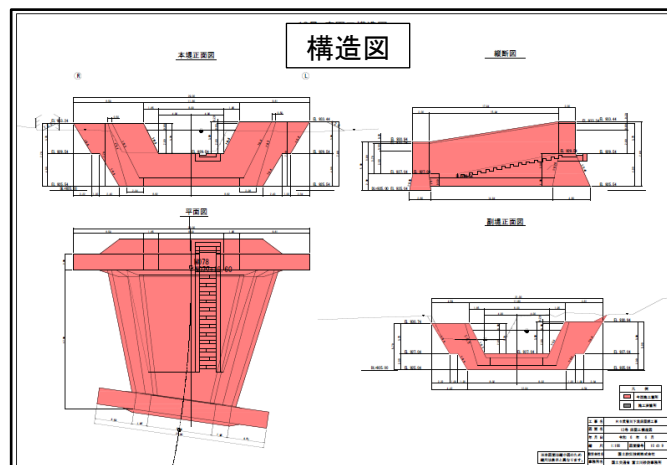
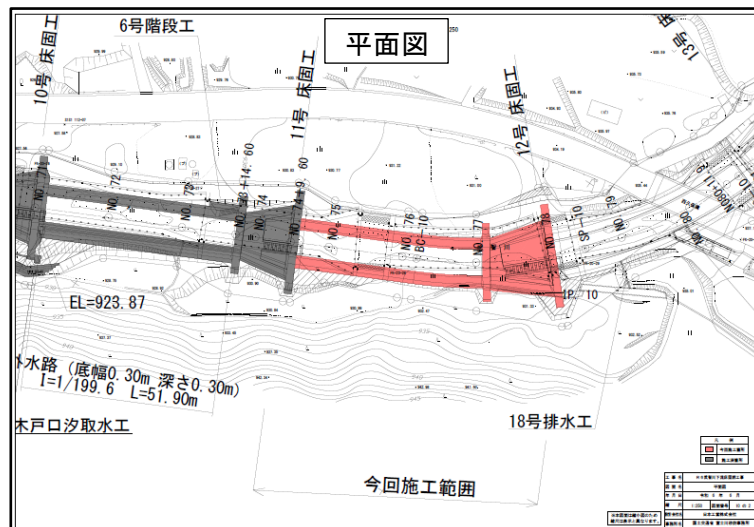
副所長（技） 樽林 哲也（くればやし てつや）（内線：204）

工務課長 清水 武広（しみず たけひろ）（内線：311）

《工事概要》

- (1) R 6 武智川下流床固群工事
- (2) 施工場所：長野県諏訪郡富士見町富士見地先
- (3) 全体工期：契約締結の翌日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで
(余裕期間制度（フレックス方式）)
- (4) 入札方式：一般競争入札（総合評価落札方式）自治体実績チャレンジ型
- (5) 工事種別：一般土木工事 C 等級
- (6) 工事内容（概要）：

流路護岸工	1 式
ブロック積擁壁工	約 540m ²
床固め工	1 式
コンクリート	約 1,200m ³
仮設工	1 式



《不調不落対策》

1. 地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更
「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用について、その妥当性を確認のうえ設計変更の対象とします。
 営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費
 労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

構成費目		率分に含まれる主な項目
営繕費	借上費	建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用
	宿泊費	労働者が、旅館・ホテル等に宿泊した場合に要した費用
	労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送するために要した費用
現場管理費	労務管理費	募集・解散費、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

2. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和8年3月31日までの間で受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

3. 一般競争入札（総合評価落札方式）自治体実績チャレンジ型

国実績の無い（少ない）企業の参入を促すため、地方整備局発注工事の実績が無い（少ない）企業であっても、自治体（都県政令市）の工事成績等により評価が行える発注方式です。

総合評価の配点の特徴

【企業の技術力】

1) 工事成績

・都県政令市発注工事の当該工種工事における工事成績評定点（同一機関：2件）の平均点を評価（※国成績を有している企業は、国の成績で評価する）

2) 優良工事等表彰

・都県政令市発注工事において受賞した知事表彰等の有無を評価

3) 本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量を評価

4) 地域貢献度（災害協定）

・都県政令市の災害協定も富士川砂防事務所との災害協定と同等に評価

5) 地域貢献度（災害協定に基づく活動実績）

・都県政令市の災害協定に基づく活動実績も富士川砂防事務所の活動実績と同等に評価

6) 地域貢献度（災害時の基礎的事業継続力の認定）

災害時の基礎的事業継続力（BCP）の認定を評価

【配置予定技術者の技術力】

1) 同種工事の工事成績

・競争参加資格を満たすことを証明するために提出した都県政令市の工事成績評定点を評価

2) 優秀工事技術者等表彰

・都県政令市発注工事において受賞した技術者表彰の有無を評価

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書 交付 : 令和6年 7月 3日（水）
○競争参加資格確認申請書提出期限 : 令和6年 7月 16日（火）
○入札書・工事費内訳書 提出期限 : 令和6年 7月 30日（火）
○開札日 : 令和6年 8月 22日（木）

概略工事工程表

工事名：R6武智川下流床固群工事

工 種	単位	数 量	令和7年度												備考
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
準備工	式	1													・30日間(1次施工) ・10日間(2次施工)
仮設工 1次施工	式	1													・工事用道路、仮橋 ・仮締切
構造物撤去工 1次施工	式	1													・構造物取壊し工(2pt)
土工 1次施工	式	1													・掘削工(1pt) ・掘土工(1pt) ・埋戻工(1pt)
床固工 1次施工	式	1													・第12床固(1pt)
護岸工 1次施工	式	1													・ブロック擁壁工(2pt) ・隔壁工(2pt)
仮設工 2次施工	式	1													・工事用道路、仮橋 ・仮締切
構造物撤去工 2次施工	式	1													・構造物取壊し工(2pt)
土工 2次施工	式	1													・掘削工(1pt) ・掘土工(1pt) ・埋戻工(1pt)
床固工 2次施工	式	1													・第12床固(1pt)
護岸工 2次施工	式	1													・ブロック擁壁工(2pt) ・隔壁工(2pt)
後片付け	式	1													・20日間
制約条件 夏期休暇 年末年始	—	—													・8月中旬 ・12月下旬～1月上旬
制約条件 出水期間	—	—													・6月1日～10月31日

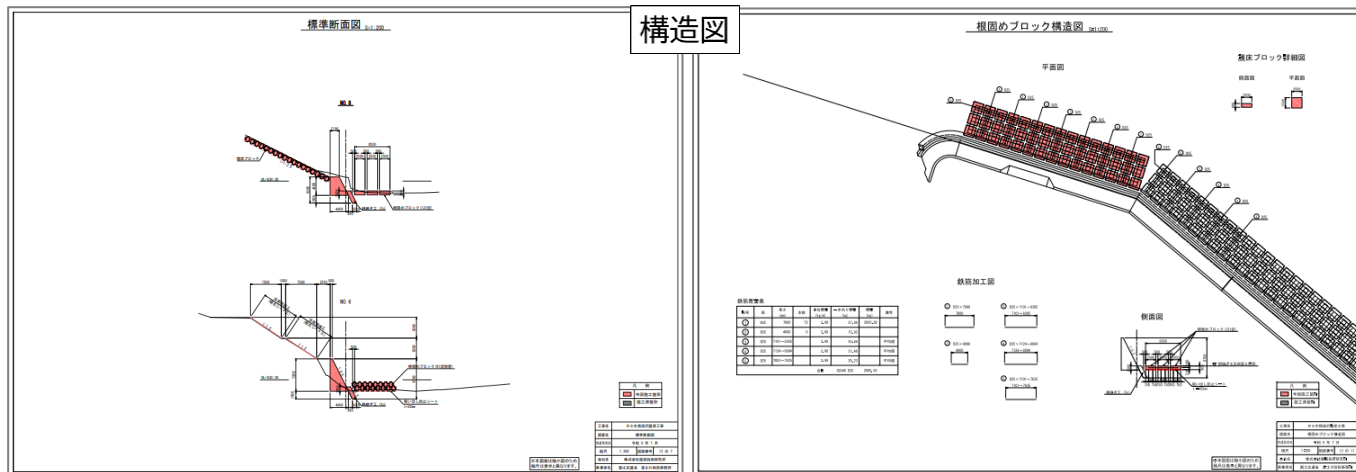
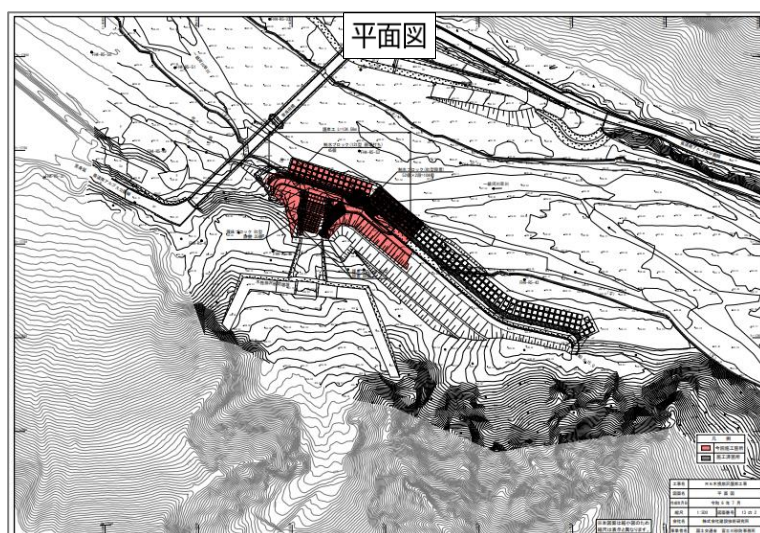
《余裕期間制度(フレックス)の活用について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

《工事概要》

- (1) R 6 木挽崩沢護岸工事
- (2) 施工場所：山梨県南巨摩郡早川町奈良田地先
- (3) 全体工期：契約締結の翌日から令和7年6月30日まで
(余裕期間制度（フレックス方式）)
- (4) 入札方式：一般競争入札（総合評価落札方式）自治体実績チャレンジ型
- (5) 工事種別：一般土木工事 C 等級
- (6) 工事内容（概要）：

流路護岸工	1 式
コンクリート	約 1,800m ³
根固めブロック製作	約 50 個
根固めブロック設置	約 210 個
仮設工	1 式



《不調不落対策》

1. 地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更
 「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用について、その妥当性を確認のうえ設計変更の対象とします。
 営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費
 労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

構成費目		率分に含まれる主な項目
営繕費	借上費	建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用
	宿泊費	労働者が、旅館・ホテル等に宿泊した場合に要した費用
	労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送するために要した費用
現場管理費	労務管理費	募集・解散費、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

2. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和7年6月30日までの間で受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

3. 一般競争入札（総合評価落札方式）自治体実績チャレンジ型

国実績の無い（少ない）企業の参入を促すため、地方整備局発注工事の実績が無い（少ない）企業であっても、自治体（都県政令市）の工事成績等により評価が行える発注方式です。

総合評価の配点の特徴

【企業の技術力】

1) 工事成績

- ・都県政令市発注工事の当該工種工事における工事成績評定点（同一機関：2件）の平均点を評価（※国成績を有している企業は、国の成績で評価する）

2) 優良工事等表彰

- ・都県政令市発注工事において受賞した知事表彰等の有無を評価

3) 本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量を評価

4) 地域貢献度（災害協定）

- ・都県政令市の災害協定も富士川砂防事務所との災害協定と同等に評価

5) 地域貢献度（災害協定に基づく活動実績）

- ・都県政令市の災害協定に基づく活動実績も富士川砂防事務所の活動実績と同等に評価

6) 地域貢献度（災害時の基礎的事業継続力の認定）

- 災害時の基礎的事業継続力（BCP）の認定を評価

【配置予定技術者の技術力】

1) 同種工事の工事成績

- ・競争参加資格を満たすことを証明するために提出した都県政令市の工事成績評定点を評価

2) 優秀工事技術者等表彰

- ・都県政令市発注工事において受賞した技術者表彰の有無を評価

《スケジュール》

- 入札公示、入札説明書 交付 : 令和6年 7月 3日（水）
- 競争参加資格確認申請書提出期限 : 令和6年 7月 16日（火）
- 入札書・工事費内訳書 提出期限 : 令和6年 7月 30日（火）
- 開札日 : 令和6年 8月 22日（木）

概略工事工程表

別紙ー5

工事名：R6木挽崩沢護岸工事

		単位	数 量	令和6年度						令和7年度			備考			
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		6月		
準備工		式	1	余裕期間 ※任意で設定可能											・30日間	
仮設工		式	1													・工事用道路 ・仮締切
構造物撤去工		式	1													・コンクリート取壊し運搬処理 (1pt)、根固めブロック撤去 (1pt)
土工		式	1													・作業土工(2pt)、法面整形工 (1pt)、埋戻し(2pt)
コンクリート擁壁工		m3	1,566													・コンクリート擁壁工(1pt)
植生工		m2	450													・植生シート(1pt)
根継ぎ工		m3	254												・根継ぎ工(1pt)	
根固め・水制工		式	1												・消波根固めブロック製作(1pt)、 ブロック据え付け(1pt)	
後片付け		式	1												・20日間	
制約条件	年末年始	—													・12月下旬～1月上旬	

《余裕期間制度(フレックス)の活用について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。